pT分布、Flow、2体相関(ridge含む)、3体相関

チュートリアル研究会 「重イオン衝突の物理: 基礎から最先端まで」

筑波大物理、江角晋一



チュートリアル研究会、3/24/2015、理研

筑波大物理、江角晋一



化学的凍結 粒子種、数、比の決定





2粒子相関法により発生源サイズの大きさを測る。









Experimental Reaction Plane (Event Plane) definition













チュートリアル研究会、3/24/2015、理研

筑波大物理、江角晋一



チュートリアル研究会、3/24/2015、理研

External Reaction Plane determination in ALICE for $v_{\rm n}$ measurement in TPC

* ZDC (2 arms, 4 segments in x/y)

* T0 (2 arms, 1 ring/arm, 12 PMTs/ring) T0C η : [-3.3 ~ -2.9] T0A η : [4.5 ~ 5.0]

* V0 (2 arms, 4 rings/arm, 8 segments/ring) V0C η : [-3.7 ~ -3.2 ~ -2.7 ~ -2.2 ~ -1.7] V0A η : [2.8 ~ 3.4 ~ 3.9 ~ 4.5 ~ 5.1]



ALICE – ZDC



チュートリアル研究会、3/24/2015、理研



PHENIX reaction plane detector / STAR reaction plane detector for BES2



筑波大物理、江角晋一





ZDC x/y position correlation between A and C side





flipped x-coordinate in one(C or A) side

R.P. angle correlation between A and C side





"Extended Longitudinal Scaling" of all longitudinal distributions

PHOBOS QM2005 Fュートリアル研究会、3/24/2015、理研 Gunther Roland - MIT

The wiggle (the 3rd flow component) is there.







Rapidity dependence of v_1



$$v_{n}^{even} = \frac{1}{2} \left[v_{1}^{} \{ \Psi_{SP}^{p} \} - v_{1}^{} \{ \Psi_{SP}^{t} \} \right]$$

 p_T dependence of v_1



Amazing similarities of $v_1(p_T)$ shapes for these 3 cases, while v_1 {2PC} is much larger by more than factor of 10 caused by very strong momentum conservation.







「反応平面に対する電荷非対称性」の測定 重イオン衝突による強い磁場中における QGP中の局所的パリティー非保存効果のシグナル?



STAR Preliminary, QM12



休憩

(後半は、高次異方性と粒子相関について)

Higher order event anisotropy ---- v₃ ----

black-disk collision, sign-flipping v_3 like v_1 initial geometrical fluctuation, no-sign-flipping v_3



Reaction Plane (x-z)

arXiv:1003.0194













 $v_{2}{\Phi_{2}}, v_{3}{\Phi_{3}}, v_{4}{\Phi_{4}}$ at 200GeV Au+Au

arXiv:1105.3928



Event plane (E.P.) method

$$F(x) = 1 + \Sigma [2 p_n \cos(n x)]$$

• Rapidity-gap

>

- Scaler Product (S.P.) method
- 2(4,6,8,) particle cumulant
- Lee Yang Zero





Figure 5: Two-dimensional (2-D) per-trigger-particle associated yield of charged hadrons as a function of $\Delta \eta$ and $\Delta \phi$ for $4 < p_{\rm T}^{\rm trig} < 6$ GeV/c and $2 < p_{\rm T}^{\rm assoc} < 4$ GeV/c in 12 centrality classes of PbPb collisions at $\sqrt{s_{_{NN}}} = 2.76$ TeV. The centrality labeling is such that 0-5% is the most central five percent of PbPb collisions. \mathfrak{F}_{2} —下了儿研究会、3/24/2015、理研















2粒子ジェット相関とQGP形状の関係をみる。

- strong Φ_2 dependence and left/right asymmetry (coupled with energy loss and flow)
- broad out-of-plane correlation enhanced more in central (redistribution and expansion)
- weak Φ_3 dependence



Further tests of hard-soft interplay using correlation between jet modification and geometry/expansion of QGP



methods

- Multi-particle correlation
- Jet-hadron / γ-hadron correlation
- Jet fragmentation function
- Di-jet distribution

Yet another axis as a control parameter to define path length, geometry and expansion.

Systematic test of energy loss and redistribution with photons, jets and hadrons





おわり

(明日は、フローとゆらぎの物理結果について)

- 11. 実験的に何を以てQGPとするのか?
- 13. 衝突直前後の物理、QGPとしておよそ平衡化していることをどうやって知るか。
- 16. QGP発見と言える根拠
- 17.クォーク・グルーオンプラズマの発見といえる決定的なエビデンスは現状では何であると総括しているのか?
- 33.そもそも実験でどのような量を測っているのか、そこからわかる事を知りたい。
- 43. これまでの重イオン衝突実験から、結果的にQCDの相転移について何が(新しく)分かった と言えるのか?
- 52. Glauber、多自由度、中心度、揺らぎなど多重度揺らぎ、negative binomial(その背景?) 58. 理論計算および実験結果の信頼していい事と疑った方が良い事について. 重イオン衝突 実験で高温になると言っているが,非平衡系で温度のようなものは存在するのか? 61. 中心衝突度と衝突係数の関係について
- 65. RHICの実験結果が出た後に、重イオンでの時間発展と宇宙の熱史との類推が紹介されていたが、最近はあまり聞かない。RHICでの重イオン衝突実験が終わりに近づいているが、その 集大成を初期宇宙の理解に役立てることが実現できるか?どこに困難があるか?
- 75. 重イオン衝突における熱化過程についてとそれに対して感度のいい測定量・測定可能性に ついて
- 77. 重イオン実験の将来の見通しに関して
- 78.LHC、RHICではそれぞれ何が測定可能な量なのか。各実験グループがそれぞれ何を測るのに向いているのか
- 79. 重イオン衝突の様々な観測量に関する詳しい説明など
- 131.20年後の展望

23. 非対称衝突やv2,v3の解析によってどのような事象の理解をより深めることが出来るか 32. QGPのeta/sが小さいという話があるが、どのような実験結果と理論で示されているのか知りたい。

35. v1>0の方向を実験的にどう決めているか

38. フローに関する実験結果の現状とQGPの流体力学的性質の関係

42. Flow解析について

51. ハドロン化 quark number scalingの衝突エネルギー依存性は定量的にどこまで理解されているか? hadronic rescatteringの影響? Entropy問題はどうなったか?

56.構成クォーク数スケーリング(とそこからのずれ)はどのように決着したのか/させるのか。 理論家の解釈を聞きたい

100. quark number scalingはなぜ成り立つのか。また、どのエネルギー領域で正当性が確認さているのか。

80. 重イオン衝突の時間発展について理論や実験から何がわかったか、や QGPの特徴として 粘性がよく取り上げられますが、他にもどのような量が測定可能か等が知りたいです 91. v_nのはかり方はいろいろなやりかた(EP, LYZ, n粒子相関)があるが、それらの違い。 108. v_nの計算手法について。理論と実験で比較する際に気をつけるべき点などが知りたい です 49. pA(dA) クローニン効果の粒子種(pi,K,p)依存性は何を意味するか? フローに頼らない多粒 子相関

- 60. high-multiplicity p+p、及びA+A衝突におけるflowやridgeについて、その起源に関する理論 的予想、またその予想を確かめるためにどのようなものを実験的に測れば良いのか、加えて 実験的にはこれまでに何を測ってきたのか、を包括的に説明して欲しいです
- 71. pA衝突とAA衝突の両方でflowが観測されているが、何か違うところはないのか?
- 72. 今の段階で、AA衝突でのflowがQGPの存在に対する証拠と言えるか?
- 86.LHCの結果が出る以前では、陽子+陽子衝突:QGPは出来ない、金+金中心衝突:QGPが出来 ている、というのが解釈(あるいは暗黙の了解?)だったと思うのですが、LHC以後、その解釈 がどう変わったのか、R_AAは結局どう解釈したらよいのか?
- 106. collectivity in small systems
- 96. QGPの生成の強い根拠のひとつとして、v_2の測定があったと思うが、AA以外の小さなシステムでも見えている。これは、どう理解すればよいのか。
- 124. pAで見えている流体的な振舞の起源。初期なのか流体なのか? AAでのフローなどの発見は、本当に流体的な振舞の結果なのか?

7. ゆらぎの根本的な話が聞きたいです。理論側から、実験側で測定してもらいたいもの 実験 側から、実験で測定できるがまだ測定されてないもの(e.g. direct photon v2,3 in Cu-Cu) 26. バリオンストッピングとバリオンの揺らぎの関係。stoped nucleon で臨界点付近の揺らぎが わかるのか?

31. QCD臨界点の有無 実験でどれぐらいまでわかるのか あったら(なかったら)何が見えるはず か

50. QGPを特徴づける性質(粘性など)臨界点近傍での散逸と揺らぎとその膨張系におけるダ イナミクス

62. QCDの相転移がクロスオーバーか1次相転移かを重イオン衝突実験ではどのように区別できるのか?

68. ゆらぎの物理について。QGPについて。

84.1st order相転移のシグナルとcrossoverのシグナルの差異はあるのか?

85. ハドロンの観測量は過去の履歴を保存しないということが常識(v2などは除く)であるのに、 なぜ臨界点の探索にハドロンの揺らぎが採用されているのか

99. RHICのBESで測られている物理量の全般的なレビュー(ゆらぎ、HBT、v 1 etc)。

133.11月のJ-PARC研究会で、J-PARCでは流体描像が成り立たないのではという話しがありましたが、それはなぜなのか。また、もしそうなった場合、QCD相図をサーベイするツールとしてうまく機能するのかという点を伺いたいです

53. Femtoscopy HBT puzzleはどうなったか?特に初期フローの存在は本質か? 理論と実験の 比較はどこまでApple-to-Appleか?

57. 理論計算の結果と比較する際に電磁気力による影響をどのように考慮しているのか。例 Correlation FunctionからSource Functionに変換する際等

120. 重イオンの時空発展にあって、QGPの物性量をいかに綺麗に正確に引き出すことができるのか? 何を見ることが重要なのか?ジェット、重クォーク、レプトン、光子、vnの測定はどこまで本当に迫れるのか?

44. 直接光子の識別方法について。2粒子相関の解析方法について

73.測定された「光子」が熱光子だという証拠はあるか?どこまで確証のあることか?

101. 熱光子は本当にQGPからの「熱的」な光子と理解できるのか。また、そうだとして、そうして 推定される「温度」Tはどこの温度なのか。

102. thermal photon puzzleの現状。v 3の結果を踏まえて。

128. 光子・レプトン対はQGPの直接的信号になるとよく言われますが、実験室での観測から QGPの「どのような性質」を明らかにすることができるのかを知りたいです

27. ジェットとQGP媒質応答、EOS, 音速との関係。

118. ハードプローブとQGP中でのエネルギー損失機構について

134. ハードな散乱とはどういうものなのでしょうか。重イオン衝突で用いられるのはなぜ金原 子なのでしょうか。jetがQGP中でどのようにエネルギーを失うのか 1. これまでのRHICとLHCにおける重イオン衝突実験で、強い磁場や電場の効果は見えているのか。

15. Chiral magnetic effectの実験的な観測方法

103. 衝突直後に強い磁場は本当に存在しているのか。存在するとすれば、そのタイムスケールは。また、実験的にそれを確かめることはできるのか。

112. カイラル磁気効果は高エネルギー重イオン衝突では観測できなかったのか?